

CDP気候変動プログラムの評価結果に関するお知らせ：「B」スコアを取得

2024年2月6日、環境評価の情報開示に国際的に取り組む非政府組織（NGO）であるCDPより、2023年に実施した気候変動情報開示に対する活動を評価する「気候変動プログラム」に対する評価結果の発表があり、E・Jホールディングス株式会社は「B」スコアを取得しました。

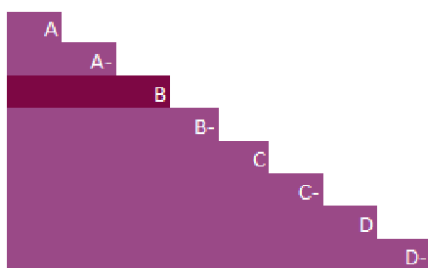


CDPは、英国の慈善団体が管理する非政府組織（NGO）であり、投資家、企業、国家、地域、都市が自らの環境影響を管理するためのグローバルな情報開示システムを運営している団体で、企業の環境に対する取り組みを、毎年「A、A-、B、B-、C、C-、D、D-」の8段階で評価しています。

当社グループでは、第5次中期経営計画の初年度である2021年5月期より、ESG経営の一環として、気候変動リスクへの取組に着手し、2023年度もCDPからの質問状に対して回答いたしました。

その結果、上位から3番目の「B」評価に認定されました。この評価は、アジア地域の企業の平均であるC及び、建設コンサルタント企業が分類される専門プロフェッショナルサービス業の平均であるCを上回るものです（下図は、CDPによる評価結果の抜粋です）。

UNDERSTANDING YOUR SCORE REPORT



E・J Holdings Inc. received a B which is in the Management band. This is higher than the Asia regional average of C, and higher than the Specialized professional services sector average of C.

Leadership (A/A-): Implementing current best practices

Management (B/B-): Taking coordinated action on climate issues

Awareness (C/C-): Knowledge of impacts on, and of, climate issues

Disclosure (D/D-): Transparent about climate issues

当社グループとしては、今後も継続的に、GHG排出量の削減を進めるとともに、気候変動に対して積極的に取り組んでまいります。

CDPへの回答及び評価結果の詳細は、下記を参照ください。

[【CDPによる評価結果】](#)

以上